

進路だより第2号：令和2年5月14日発行

佐賀県立唐津東高等学校 進路指導部
〒847-0028 佐賀県唐津市鏡新開1番地 TEL 0955-77-1984

羅針 ～高く望み、強く走れ！～

「精神力偏差値が試されるとき」

進路指導部長 宮川 淳

大学入試に必要なものは、まず学力。しかしそれだけでは難関突破はできません。学力以外に必要なもの、それは学力向上を支える「体力」と「精神力」であり、高3までに頑張っ
て身に付けた総合力の勝負ともいえます。いわゆる知・徳・体がそろった人が、君たちの人生で最大の困難、つまり大学入試に打ち勝つことができます。体力がなく、すぐ体調不良や
病気になる人や、精神力が弱く、仕事から逃げたり重圧に負けたりする人は、入試という高いハードルは越えられません。

学力のデータを相対的に数値化したものを偏差値といますが、この偏差値を体力と精神力にも当てはめてみてください。自分の体力・精神力はどれほどか。平均を50として自分の偏差値はどれくらいか、自己分析してみましょう。――ここまでの話は、4月当初、高3の学年集会で話したことをもとにしています。（その際、学力を支える体力・精神力の他に、保護者の理解・協力という「家庭力」と、高3生全員の切磋琢磨という「団結力」のふたつの力も受験突破に必要である、と話しました。）

さて、今からが本題の内容です。「この臨時休校の間、充実した生活を送ることができましたか？」

普段の学校生活と同じような生活サイクルを自分に課し、日々の計画通りに学習や運動をこなし、目標の成果を収める。これができた人は精神力の偏差値が十分に高い人です。先の見通しの立たないこの状況で、それでも先を見て「自分はどうなりたいのか」を真剣に考え、「今、何をすべきなのか」を着実に実践すること。今、君たちに求められていることはこういった「主体性」、「自主性」です。授業も部活動も学校行事もままならないこの状況では、残念ながらわれわれ教師は君たちに十分な指導・助言ができません。入試にもどんな影響が出るか予断を許しません。楽をするほうに流されず、目標に向かってひたむきに努力する方向に自分をコントロールする精神力が試されています。例年以上に君たちの精神力偏差値の違いで、将来の結果が大きく異なるでしょう。高3生は待ったなし。それに続く下級生も学力向上に大きく影響します。

自分で自分を鍛えるしかありません。今こそ君たちの精神力の偏差値が試されます。

「自分でする！」—これしかありません。

【進路指導部より】 「進路指導室へ行こう」

進路指導室を利用していますか？ 本校の進路指導室は、大学の過去問題を載せた通称「赤本」・「青本」や、個別大学模擬試験、全国模擬試験の過去問題集など、とても多くの資料を備えています。また、学部研究や職業研究に役立つ資料や情報誌も常に更新し、最新情報が得られるようにしています。3年生はもちろんのことですが、1年生や2年生も文理選択や学部学科選択のために役立つ情報を仕入れに来てほしいと思います。

<進路指導室常駐の先生>

部長：宮川 淳（生物） 副部長：土井 孝一（英語）
3年生：藤谷 康之（英語） 田中 佳司（物理）
2年生：岩本 京子（化学） 1年生：三根 香織（英語）
事務担当：門川 貴美子

<進路指導室の具体的な利用法>

① 資料や過去問題の閲覧

進路指導室には膨大な資料が整理されており、インターネット等では調べることができない情報も沢山あります。持って帰ることのできる資料もありますし（常駐の先生に尋ねよう）、過去問題等はコピーもできます。進路について調べたいことがあれば、進路指導室へ来てください。資料の一部を紹介します。

- ・仕事や学問の内容に関する資料
- ・大学等の学校案内や募集要項
- ・大学等の過去問題

本校の生徒がよく受験する学校については過去10年分以上の問題が保管されています。

- ・小論文対策の資料

小論文の書き方に関する資料だけでなく、小論文のテーマになりそうな話題についてまとめた資料も充実しています。

- ・先輩の受験レポート

面接で聞かれた内容や面接の形式について詳しくまとめられています。また、面接試験の経験を基にしたアドバイスはとても参考になります。

② 資料や進路や職業に関する質問や相談をしよう

進路のことで悩んだり、解らないことがあれば、担任の先生、そして進路指導室に相談に来てください。文系・理系の選択、学部や学科の内容、大学の特徴や難易度、学費や奨学金制度等々。相談をすることで自分の考えを整理することができ、今後、取り組むべきことや目標とすることなどをはっきり知ることができると思います。先生方が優しく丁寧に対応します。

◎進路指導室を利用する際には・・・

- ★大きな声で挨拶し、来室の目的を伝えましょう。
- ★進路指導室内の資料はコピーをすることが出来ます。（有料、1枚10円です。）
（貸出しができる資料もあります。持ち込みの資料のコピーはできません。）
- ★お客様が沢山いらっしゃいます。節度のある態度を心がけましょう。

【今後の学習への心構え】

新年度が始まって1ヶ月が経ちました。今回は高校生みなさんに期待することを、各学年主任の先生方より挙げてもらっています。これを読んで今後の学習の参考にしてください。

高校3年生へ

（高校3年学年主任 池田真理）

3年生の皆さん、「受験」という高校生活最大にして最後の目的にどのように取り組むか、イメージはできていますか？1年前には誰も予想できなかった状況に見舞われていますが、私たちはひたすら目標に向かって日々を過ごしていくしかありません。どんなことでも起こりうるという覚悟のもと、来たるべき受験に向けて、今は力を蓄えましょう。

長期の休校によって、学力格差は確実に広がっています。今は生活のリズムを早く立て直し、休校中の遅れを1日も早く取り戻したいところです。また、今年度は共通テストを始めとして、推薦やAO入試等の制度や呼称が変わります。自分の適性や目標をしっかりと分析し、貪欲に挑戦してほしいと思います。不安でも安易に目標を下げず、最後まで粘り強く取り組んでください。一緒に頑張りましょう。

高校2年生へ

（高校2年学年主任 古川貴史）

高校2年生の今年度の目標は『正しい動機づけのもとで行動する』ということです。昨年度築いた「土台」の上に、自らの行動に正しい「動機づけ」を行い、来年度の「成果」につなげる、というイメージを持っていただきたいと思います。基本的なスタンスは「生活習慣、学習、将来への展望」の三本柱の継続及び発展です。補足すると「正しい生活習慣を継続」させ、「本質的な学力」を伸ばし、「(将来に向けて)正しい動機に基づく行動をとる」ということです。高校2年生は「中だるみ」の学年と揶揄されることがあります。その期間（時間）をいかに少なくし、将来に向けた準備期間に充てられるのが成長の鍵となるでしょう。学校行事や部活動で中心になる1年間です。皆さん一人ひとりの自覚とそれを実際の行動に移す姿を数多く見られることを期待しています。

高校1年生へ

（高校1年学年主任 瀬戸隆英）

昨年度4年ぶりに高校3年の担任をしました。5度目の高3でしたが、昨年が進路選択に一番悩んだ学年でした。時代の流れとともに、ライフワークや仕事の価値観の変化、IT普及による仕事の変化など、職業の選択肢や不透明感が増しています。また、大学改革により、学部学科の多様化、入試制度の多様化など複雑で分かりづらくなっており、生徒と一緒に大変悩み苦労しました。難しい時代ではありますが、変化の時代はチャンスでもあります。こんな時代だからこそ、自分を見つめ、自身の本質を高めていくことが必要です。何となく高校生活を送るのではなく、「やりきれない自分」、「本質を磨く自分」、「夢を描ける自分」を目指していきましょう。

1年生には文理選択という大きな人生の岐路があります。目先の事にとらわれずに選択をしてください。そして、自分で考えたその選択に「責任」を持ってください。先生たちは支援や指導は惜しみなく行います。悩んだら相談してください。一緒に悩み、考えましょう。

【高校1年県下学力診断テストの結果について】

右の表は、4月に高校1年生を対象にして行われた県下一斉学力診断テストの結果を、現在の高校2年生から今年の3月の卒業生までの学年と比較したものです。県下一斉模擬試験で自分の順位を把握することは、志望校への合格ラインの目安にもなります。文理で若干の違いはありますが、県順位の1000番～1200番くらいまでが国公立大学の合格ラインといえます。

1年生の皆さんは、今後もこのような模擬試験の結果から目を逸らさないで下さい。模擬試験で出来なかったところを復習し同じ失敗を繰り返さないことが、次の成功へとつながり確実に力となっていきます。上手くできなかったところは、次へのチャンスだと捉えましょう。

学年 県順位	現1年生	現2年生	現3年生	卒業生
	1年次4月	1年次4月	1年次4月	1年次4月
～ 50	6	6	6	7
～ 100	8	9	9	12
～ 250	25	29	19	27
～ 500	58	57	51	59
～ 750	88	79	91	90
～1000	126	109	120	116
～1250	152	140	150	146
～1500	177	165	173	172
～1750	199	184	190	191
～2000	212	201	204	204
本校受験者数	238	231	237	240
県受験者数	4774	4850	4952	5274

※保護者の皆様へ

ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

